

2022年度 第1回学校評価のまとめ

校長 平井 正朗

7月に実施した第1回学校評価の結果です。対象は、生徒、保護者、教職員です。回答数は、在籍332名中、生徒290名(87.4%)、保護者195(58.7%)です。以下の%は、設問に対して「わからない・無回答」を除いて「(やや)あてはまる(=達成率)」と答えた割合を示します。なお、保護者については未回答を除いて計算しました。全体の平均達成率は生徒76.5%、保護者76.0%、教職員93.9%でした。

高評価:90%以上、要精査:60~69%、要改善:60%未満

■ 生徒

- ・90%以上 → 0項目、80~89% → 14項目、70~79% → 9項目
60~69% → 4項目、60%未満 → 2項目

- 要精査: 危機管理(講習・訓練) 68.6% 生徒指導(組織的対応) 66.8%
授業(きめ細やかな指導) 65.2% その他(読書教育) 55.6%

- 要改善: カウンセリング体制 46.1%

■ 保護者

- ・90%以上 → 1項目、80~89% → 11項目、70~79% → 13項目
60~69% → 4項目、60%未満 → 1項目

- 要精査: 授業(資的向上) 66.5% 授業(きめ細やかな指導) 64.6%
授業(探究活動) 65.5% SDGsと社会貢献 65.3%

- 要改善: 読書教育 46.7%

■ 教職員

- ・90%以上 → 30項目、80~89% → 9項目、70~79% → 0項目、60~69% → 0項目
60%未満 → 1項目

- 要改善: 地域交流 40.7%

以上の結果から以下のような対応を行って参ります。

- ・カウンセリング体制の向上: 個別最適化学習が可能な「KOKOROOM(ココルーム)(学習支援室)」を新設しました。また、カウンセリングルームをKOKOROOMに隣接・リニューアルし、カウンセラーを常駐、環境を整備しました。
- ・読書教育: 全校体制での「朝読」実施、「ビブリオバトル」の参加、電子図書館の活用、高大連携による読書指導の充実を図りました。
- ・地域交流: 新設の3センターより地域の方々が参加できるイベント等を開催することによって、交流を深めています。